



日刊 日曜 日誌
日休 一ヶ月 廿五銭
郵税 一ヶ月 廿五銭
廣告料 一行 四十銭
発行所 印刷部
石城郡 平野町 二丁目
電話 二二三
新刊 新報社

座講識常
ミソロジーは神話また
は神話學、ローマやキ
リシヤの物語りに作ら
れてゐるもの此の神話
學者及び神話作者をミ
ソジストと云ふ、一寸
似通ふ語のミソジニ
なら女嫌ひのことだ

満開の来る廿六日

一千四百名の団体

茨城の助川と小水津驛から

臨時列車で乗り込む

平町に於ける櫻花期の催物として呼ばれてゐるが、獨占的の觀を盡して引上げたが花はもう二分咲きの程度で客を招いて居り、今二十日の快晴は正午頃から思ひ掛けぬ人出を以て賑はつたが満開を豫想される来る二十六日こそは助川驛から約八百名、小水津驛から約六百名何れも相前後して午前十時頃到着の臨時列車で乗り込む筈であるから當日の賑はひは本年花期の最高のレコードであらうと列車で乗込んだ助川驛からの

紛争も漸く下火

探湯坑着々進行

石城郡湯本町の湯源探し

豫定通りの着湯を覗み

石城郡湯本町に於ける探湯坑掘鑿は一時町を挙げての騒ぎの如くであつたが紛争の端緒は問題化せんとする問題屋の策動であつた爲め関係の未相告誡中の争ひの如きも互に

山神祭

河合課長視察の後祝賀會へ

本縣河合土木課長は来る二十六、七兩日石城郡内に於ける關係工事の視察を行ひ江名築港と同町上水道落成祝賀會に臨む筈である

來廿四日發會式

一本縣觀光協會

伊藤知事と三市長の發起で

石城に上げられる名勝

縣下の主要觀光地を汎く世に紹介せんとする觀光協會は伊藤知事及び福島市長佐藤澤郡山田和潤、若松同佐藤剛四氏の發起で去る十五日觀光地代表者等と協議を行ひ公會二十四日午前十時福島市公會堂に創立總會を開催の筈で平町から青沼町長その他出席されるが石城郡に於て觀光地に上げられてゐるものは左記の如くである

湯本驛改築の祝賀

準備遅れて來廿五、六日頃

石城郡湯本町では同町聯合の

道關係者を初め附近有志を招き時給も櫻花の満開を迎ひて盛大な祝宴を催す筈である

石城明日の共販米

出荷は合計九百九十二俵

前回より十錢高値か

石城郡販賣聯合會に於ける明二十一日の依米共同販賣は左記九百九十二俵の出荷に對し競争入札を行はれたが相場は中央市場に於ても高歩みの保ち合ひであるものと地方商人にも手持滞である事情等により前回よりは一俵につき十錢乃至十五錢程度の高値であらうと豫想されてゐる

衛生事務打合せ

平町衛生事務打合せ會は今日

十日同町役場に於て催された

大宮 町議 平町視察

埼玉縣大宮町會議十餘名は今

二十日來平町市制施行直前に於

ける平町の諸状態につき視察

するところがあつた

財務協議會

石城郡財務協議會は来る二十

二、三日平町稅務署樓上に於

て催されるが會後松ヶ岡公園

に於て懇親を兼ねた觀櫻會を

開かれる由

植田消防組で自

動車ポンプ購入

石城郡植田町では今年度豫算

湯田三善先生の學績

幕末に於ける日本精神及び

史學の大家 後學 諸根 梓

（一） 近世に於ける繁華の學識あるを認め、乃至は隱微の學者を指摘するなれば、れたる偉人の人物を發見するの深淺、人格、批評等に因ること必然であらう。由來幕政時代の繁華三藩、即ち平、泉、湯長谷中の學者と國家的に密着すると、從來の言へば、恐らく湯山、神林、室郷土人が印象せるそのもの、氏等に代表された觀あり、特に神林氏の如きは子々孫々相傳へることを誓ふ記憶する所

の紹介宣傳に努むる由であるが去十七日その第一回に松ヶ岡公園の五景スタンプを發表したが次は本月末頃平名所、五月末頃磐城名所を發表すと

青果市況

青物	高値	安値
大葱 (四)	三〇〇	二五〇
小葱 (百把)	一〇〇〇	八〇〇
油菜 (百把)	六〇〇	五〇〇
人参 (百把)	一〇〇	八〇
牛蒡 (百把)	三〇〇	二〇〇
馬鈴薯 (百把)	三〇〇	二〇〇
根水菜 (一把)	五〇	四〇
大和芋 (百把)	四〇〇	三〇〇
切芋 (百把)	一〇〇	八〇
水菜 (百把)	一〇〇	八〇
甲芋 (百把)	一〇〇	八〇
地卵 (百把)	一〇〇	八〇
うど (百把)	一〇〇	八〇
れんこん (一貫)	五〇〇	四〇〇
牛蒡 (一貫)	五〇〇	四〇〇
野菜類大量出荷の爲め一般に下落		

抄物人

鍋田三善先生の學績

幕末に於ける日本精神及び

史學の大家 後學 諸根 梓

（二） 近世に於ける繁華の學識あるを認め、乃至は隱微の學者を指摘するなれば、れたる偉人の人物を發見するの深淺、人格、批評等に因ること必然であらう。由來幕政時代の繁華三藩、即ち平、泉、湯長谷中の學者と國家的に密着すると、從來の言へば、恐らく湯山、神林、室郷土人が印象せるそのもの、氏等に代表された觀あり、特に神林氏の如きは子々孫々相傳へることを誓ふ記憶する所

産業方面

炭窯の余熱で 蔬菜促成

推茸や獨活や茗荷の外に花卉の栽培は天井を三割ぐらゐの屋根となし丸太を置いて粗菜を密にならべ礎を敷き其の上に厚さ五寸位の土を盛り更に炭、萱などをもつて屋根覆ひなし光線を側方、前面より取り入れる、掘り込み窯は釜式となし窯壁の周囲を掘り廻はして積雪の恐れがなければ上部より取り入れる、光線の取入れ方法は、側面入口に入口の高さ市三尺の戸二枚を立て、開閉または取り外しを容易にし出入及び作業に便ならしめる、戸には何れもガラスまたは障子を以て室内に光線をあたへ、夜間には礎をもつて防寒の装置をたす設備をして置く、吹雪が強くして室内に冷却の虞れあるかまたは製炭休止の際には手廻りの滑粉を石油の空錠を利用して一回入れておくが、または炭窯を入れて置けば充分に保温し得る、室内には腐土、砂、モミガラなどで温床をつくりまた棚をつくる、花卉類には水を與へる設備をする、以上でもつて完全に促成栽培が出来ることになつてゐる炭窯の余熱利用として申分のない配慮であるが、遺憾なことは本業の炭焼きが里都を遠く離れた山深い地であるが爲めに作つた品を市場へもち出すことのみである。

出すことのみである。

ガソリン
モビール油
石油株式会社
石油株式会社

特約販賣

油問屋 關内油店
電話長 16
磐城平

支店 郡山市露前通 電話長三二八
支店 茨城縣本郷前 電話長平海七三
支店 茨城縣本郷前 電話長平海七三
支店 茨城縣本郷前 電話長平海七三

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平町南町 電話二五八番

田町へ進出したる「一の井」であります、いつも乍ら皆様の絶大なる御恩を深く々々御禮申し上げます、

平町五丁目北裏
電話一六七

新築中の新館も落成致しました、静かなお座敷、氣やかな食堂、共にお客様の御満足を頂けると思ひます、

落成館別 一の井

お醤油は ヤマフル

醤油味噌 たひら正宗 鯉節食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話 本営業部 二一〇番

春の流行洋品
ワイシャツ ソフトポージ 新柄ネクタイ
新選シヨール ハンドバツク 晴雨パラソル

ツルヤ
平町四丁目 電話一四〇

好評 たる各種優秀薬

強力流經劑 (定價二圓、三圓、五圓、十圓)

治淋新劑トリックス (定價二圓、三圓、五圓)

Aアイヨ一錠 (定價二圓、六圓、二十圓)

Bト一ゲン (定價二圓、三圓、五圓、十圓)

特約店(平町五丁目通り) 山野邊藥局

味は 東都一流の食堂にて磨を磨いた自信が有ります

量は 自家總動員の經營による大勉強

衛生 食器は調理の度に加熱消毒

改築落成 軒壽福
町田・平 番八二話電

御家庭の延長に御家族同伴で

女給を 置かねてバート式食堂

目科療診

一、齒科 一般
保存科、補綴科、齒槽工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿腫科、レントゲン科

一、口腔外科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 惠次
日本齒科 西川 誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

回見習看護婦募集

煙突は 朝日

朝日煙突

金屋商店

多田井質店
平町大工町 電話五九一番

平町 紺屋町 藤沼醫院
電話五〇七番

平町 レストラン サロン
電話三五二

正	正	正	る	食	し
し	し	し	る	事	づ
い	い	い	る	の	か
酒	喫	食	出	來	
場	茶	堂			

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
平町田町 電話五二三番
院長 醫學士 高久 忠